





### 「こじ」の抱負

仙波 勉

より改善充実する全修協でありたいと願います。

修学旅行は、いわゆる観光ではない、学習的なものである。この学習的な側面を、行政指導その他の制約もあつた。こうした中での改善充実が、コース・内容の選択、そのありかたの問題に帰結するに思います。

山間の学校が山の自然を求めるコースと内容を選択しないで、過密都市の学校はその逆で、このように学校が、地域の事情に応じて求められている対応して協力するが全修協だと思えます。

先生がその研修旅行の場合、コースと内容の多様性を提供し、活躍に影響を及ぼす、やむを得ず全修協

### 学究的に向ふ

相墨登一郎

全修協発足して十六年、児童生徒の楽しい修学旅行を安全に、より学究的に向ふべき、学校行事としての分野に定着させる努力がなされ、政治的に経済的に活躍されている皆さまにもお喜びを申し上げます。

山陰におきましても、修学旅行の活躍に影響を及ぼす、やむを得ず全修協

## 研修旅行 春の3コース

# 「四国」「九州」に

## 「南近江と飛鳥」も加え

三季制を採用した全修協・教職員研修旅行の冬季「沖繩コース」に続く第二陣「春の研修旅行」は、学年末の休暇を利用して三月二十五日から「南近江と飛鳥大和路」「四国」「九州」の三コースが同時に実施される。

「南近江と飛鳥大和路」は歴史コースとして、奈良と滋賀を結ぶ日本文化の源流をわきま探るもので飛鳥の現地指導には権原短大の木村芳一氏が当られるのも大きな特色。「四国」は、一と足はわきま探るのも大きな特色。「九州」は、外国との接点として、また、原爆被害の中心となつた長崎をはじめ、阿蘇火山帯をめぐり、あつちの自然現象と雄大な景観を味わうことになり、

### 研修行事も充実

南近江と飛鳥  
大和路コース  
出発日 三月二十五日(日)

二泊三日(九州地区は三月二十四日発、四泊五日)  
定員 各団四十名  
会費 東京発一万四千八百円

四国コース  
出発日 三月二十五日(日)  
定員 各団九十名

九州コース  
出発日 三月二十五日(日)  
定員 各団九十名

### 旅のこころ

森田 則一

旅は楽しいものである。私もよく旅をする。しかし、振りかえってみるとほんとうの旅人になつたことがない。

北海道研修旅行で二団団長を仰せつかった。ヨーロッパ旅行では副団長だった。その他の旅行といへば職場の職員旅行や何かの催しに付随した「観光研修」と称するものに便乗したにすぎない。忙しからといって、それはそれだ。私に、私の旅行は、どうも目的喪失型の旅行である。セットされたスケジュールにしたがって、次の出発時刻を確認しながら、あちこちの景色を眺め、記念撮影をして次の行程に向つ、くたくたになつて旅館にたどりつ。そして、

### 研旅の「三徳」

徳橋 新次

私は支部の役員が機会を得て、果内の校長会・事務連合会に出向く折は全修協研修旅行の「三徳」をお話することになっている。一に「安心」に「有意義」三に「楽しい内容」である。これは毎年、



写真 昨年度研修旅行写真コンクール入賞作品「白黒」(奥入瀬川) 帆定無治氏(福岡)

このたびは、沖繩研修旅行に参加させていただきます。平和に生き、旅を満喫したい。教育の場にも、おかげさまで、伊達 スミ、きたいとご願、大層有意義な旅行ができました。取り急ぎ一筆お礼を申し上げます。(鹿児島県加治木町)

## 若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸 (旅客定員 1,800名 3,000トン)

見ているだけで、心が大きく広がる海——修学旅行は海になさいませんか。日本最大の豪華客船 ふじ・にほん丸が、生涯忘れぬ修学旅行へご案内いたします。純白の船体に若い心をのせて……

- 科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
- 一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
- 皆さまのスケジュールにあわせて就航。
- 学習講義用TVシステムも完備。
- 一般乗客との混乗はありません。

● お問い合わせは ● 東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273-8911

① 大島運輸株式会社 東京支店

## 旅のしおり

全国各地 小中高校 全90種

- 御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
- 北海道から九州まで、小学校から高校まで、あらゆる種別を用意。
- 見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
- 修学旅行の資料ならなんでもおそろえます。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版 〒601 京都市南区西九条鳥居口町5 (京都駅新幹線口の南西) 電話・代表075-681-1591, 2, 3, 4 振替・京都2539

株式会社 教材研究所

## 富士山北ろく・緑の中の休暇村!!

いま 修学旅行のために大自然をそのままうけついで施設づくりが生きています。

富士山北ろく、青木ヶ原樹海の中に富士緑の休暇村があります。ロッジ、セミナーハウスを中心に、各種のスポーツ施設を備えた休暇村は、修学旅行に最適な施設です。5月にはロッジ新館、体育館もオープンします。

● 富士緑の休暇村の施設  
 ロッジ(710人収容)・セミナーハウス(8室、最高500席まで)・大食堂(500~700席)・展望浴場(150人同時入浴可能)・サッカー場(2面)・テニスコート(10面)・バレー、バスケットコート(各1面)・ソフトボール場・400mトラック(1面)・緑の広場・キャンプファイヤー場

富士緑の休暇村  
 総合予約センター ☎ 05557-2-2236/東京 ☎ 463-2236 大阪 ☎ 313-2236/静岡 ☎ 55-2236

あすの富士山をつくる富士観光開発